



〇〇〇の秋、どんな秋

めっきり涼しくなり、暦の上のみならず秋を実感していますが、皆さんにとっての「秋」はどんな秋でしょうか。

「図書館に行こうよ」のコラムなので、読書の秋ははずせませんが、食欲の秋、スポーツの秋、睡眠の秋、芸術の秋、これがある年の大学生の思いつく〇〇の秋ベスト5とのこと。睡眠は秋？と思います。大学生にとっては年中睡眠の〇〇なのかもしれません。

先日、芸術の秋をひとつ楽しみました。文化会館での「ジャージー・ボーイズ」。実は東京の公演に行こうと思っていましたが、なんと地元である！しかも東京よりも入場料が安い（気がした）！こりゃこっちに決まり！しかも全国ツアーの皮切り。文化会館が（大きさは別にして）東京になっていました、会場全員ノリノリでした。

❖読書の秋です！

「読書週間」が少し先ですが、10月27日から11月9日まで。標語は「ホッと一息 本と一息」です。子どもの読書週間は春でしたがご記憶にあるでしょうか。4月23日から5月12日まで、標語は「はじまるよ!! 本のカーニバル!!!」でした。

読書週間の標語を見ると、コーヒーカップを傍らに秋の日差しの中で本を読んでいる姿をイメージしますがいかがでしょうか。こう思い浮かべてしまうのは歳のせいでしょうか。

こんな本が読みたいけれども紹介してほしい、というお悩みにもお応えしますので、どうぞ図書館においでください。

❖女性も大歓迎！男塾

10月7日「ゆめ拓く男塾」が開講しました。これはお話し会の読み手の養成講座ですが、午前中の講演は、東京都健康長寿医療センターの鈴木先生の講義でした。その中でわかったことは、実は「読み聞かせによる世代間交流」が健康長寿を導くのだそうです。つまりは認知症予防につながるということです。新しいことを始めること、社会的活動をしていることが健康長寿につながるということでした。

当日は実際に活動している70代の方お二人をお招きしての実演もありましたが、絵本の読み聞かせ活動の入り口は、お一方は「最近物忘れも多くなったし」という健康面からの参加だったそうです。

お話し会の読み手は圧倒的に女性が多いのですが、男性の読みは力強く、迫力がありました。男性の読み手にあっている絵本もありますので、1日目は参加できな

かったけれども興味はちょっとあるな、という方はぜひお申し込みください。

❁ 展示しています

「創刊 100 年『赤い鳥』と秋田」が 11 月 11 日（日）まで企画展示しています。

「赤い鳥」の復刻版や「赤い鳥の本」15 冊、「『赤い鳥』童謡」6 冊、赤い鳥を創刊した鈴木三重吉に傾倒し、綴り方教育を推進し続け、結果、大館での講演に尽力された高橋忠一氏への手紙などの展示がされています。赤い鳥の本や赤い鳥の童謡は手にとってご覧いただけますので、ぜひお出かけください。

❁ ビブリオバトル

明日 13 日（土）は、知的書評合戦「ビブリオバトル」の北鹿大会が、ここ栗盛記念図書館で開かれます。午前は中学生、午後は高校生の部です。「5 MINUTES BATTLE!!」。中高生がどういう本を紹介するのか、どの本が読みたくなるような紹介だったかを楽しんでいただけたらと思います。

❁ ビフォー、アフター

栗盛記念図書館では 10 月 1 日から 5 日まで、年に一度の蔵書点検のため休館させていただきました。皆様にはご不便をおかけしたこととは思いますが、ご理解、ご協力ありがとうございました。

まだ裏側での作業は続いていますが、ところで、蔵書点検が終わって来館された方、お気づきになったことはありませんか？

はい、児童書コーナーの書架を移動しました。動線が悪く、迷路のように歩かなければいけなかったのを、書架を斜めにすることで解消しました。そのため少しゆったりとした空間になったと思いますがいかがでしょうか。

これからも使いやすい図書館を目指していきたいと思えます。ご意見、ご要望がありましたら何なりとお申し付けください。皆さんの声が図書館をよくしていきます。よろしく願いいたします。（保）